

# おやまざき

広報

# 5

2012(平成24)年

ご入所・ご入学、  
おめでとうございませう！

町立各保育所入所式、町立各小・中学校入学式が行われました。今年度は第二大山崎小学校で、新一年生の晴れ姿を取材。天気もよく、新一年生の晴れ姿もよりいっそう輝いて見えました。春の陽気に、遅咲きだった桜が満開。担任の先生に名前を呼ばれて、元気に「ハイッ」と答える皆さんの、新たな門出を祝福しているようでした。

## 今月の主な内容

- 平成24年度 大山崎町当初予算 P 2
- 新しく職員が加わりました P 6
- 平成24年4月から役場の組織が変わりました P 8
- ソメイヨシノを山崎聖天に植樹しました P 9
- エコマプロジェクトの新規加入メンバーを募集 P 10
- 平成24年度 中央公民館の講座・教室の紹介 P 10
- こどもの日に鯉のぼりが泳ぎます P 11
- 平成24年度～平成26年度の介護保険料について P 11

vol.532

<http://www.town.oyamazaki.kyoto.jp>

# 平成24年度 大山崎町 当初予算

特集

## 前年度より8,400万円の増と 2年連続の増額

平成24年度一般会計当初予算は、前年度と比べ、8,400万円（1・7％）の増額となりました。義務的経費である人件費、扶助費として公債費の合計で約3千万円を減額とする一方で、投資的経費として、乙訓土地開発公社への元金償還分で2億円（前年度比8,500万円の増）を計上。また、旧役場庁舎の解体・撤去費用7千万円を計上

したことが主な理由として挙げられます。  
町長公約の実現に向け、平成24年度予算において、まずは財政の健全化を最優先で推進し、財政運営の基礎固めを行います。それとともに、早急に必要なものには積極的に投資するべきという町長の方針により予算総額が2年連続で増額となりました。

### 平成24年度 江下町長の 重点施策

- ① 行政効率アップに向けて、乙訓二市一町の広域行政への取り組みを推進し、財政の健全化に努めます
- ② 町内の移動をしやすいしながら、町民の活動する場の拡大を目指し、安全で安心できる町づくりを進めます
- ③ 妊娠、出産、育児など、それぞれのニーズに合った子育て支援の仕組みや福祉施策を充実させて、子どもを健やかに育てる町づくりを進めます
- ④ 天王山をはじめとする自然環境の再生に取り組めます
- ⑤ 国宝などを生かした観光客の増加に取り組めます

### 会計別予算額の内訳

会計名	平成24年度予算	
	金額	前年度
一般会計	51億7,200万円	43億3,200万円
国民健康保険事業特別会計	15億7,274万2千円	15億7,274万2千円
下水道事業特別会計	6億6,589万円	6億6,589万円
介護保険事業特別会計	10億6,517万円	10億6,517万円
後期高齢者医療保険事業特別会計	2億1,320万円	2億1,320万円
自動車駐車場事業特別会計	2,400万3千円	2,400万3千円
区有財産管理特別会計	3,961万3千円	3,961万3千円
特別会計合計	35億8,061万8千円	35億8,061万8千円
水道事業会計	5億8,102万7千円	5億8,102万7千円
総計	93億3,364万5千円	84億9,000万5千円

## 一般会計予算

# 51億7,200万

問II企画財政課財政係  
☎956-2101（内341）

### 一般会計 ▼ ▼ ▼ 歳入

### 歳入不足はさらに深刻に

歳入の根幹となる町税は、前年度と比べ4,746万8千円の大幅な減額を見込んでいます。この減額の主な要因は、固定資産税のうち家屋の評価替えに伴う落ち込みで、前年度と比べ5,822万9千円（△4・0％）の減額となっています。

た「集中改革プラン」では、都市計画税相当分として町税の見直しにより約2億1千万円の歳入確保を見込んでいました。しかし、この町税の見

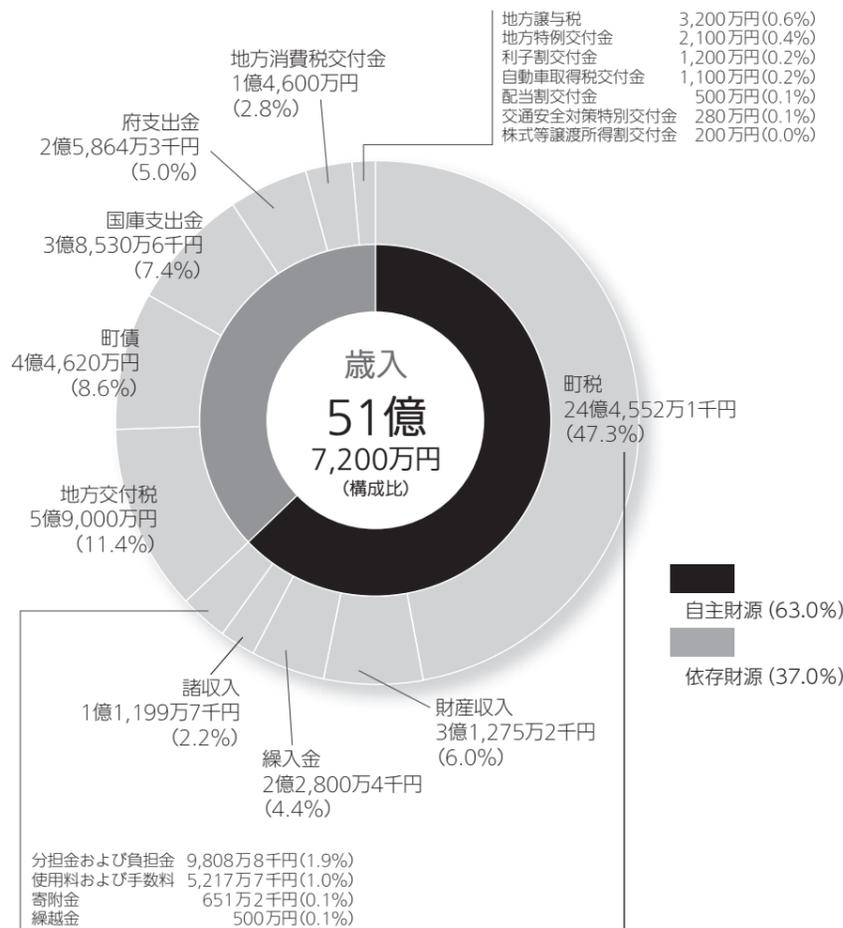
直しは実施することなく現在に至っており、この分の歳入不足が引き続き見込まれます。そのため、多目的広場代替地の道路用地への転用による

売却収入約1億円を含む町有地の売却収入3億1千万円を計上し、さらに町の貯金である財政調整基金の残高2億1千万円全額を取り崩して歳入

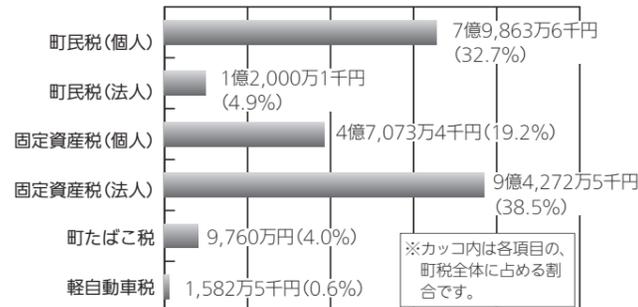
不足をカバーし、かろうじて歳入歳出のバランスを取っています。本町は依然として厳しい財政状況にあると言えます。

平成19年度から平成22年度まで決算では4年連続赤字となつてはいるものの、町の財政運営は依然として厳しく、硬直傾向を脱するには至っていません。歳入不足となる主な要因としては、近隣市町で課税されている都市計画税を課税していないことが挙げられます。平成17年度に策定し

歳入 内訳グラフ



町税の内訳



一般会計 ▼ ▼ 歳出

義務的経費の合計が減額

今回の歳出予算の特徴を性質別で見ると、人件費が6,159万円(△4.6%)の大幅な減額となっていますが、これは職員の定年退職に伴う人員の若返りによる減額が主な要因です。また、扶助費は、子ども手当の制度改正により約7千万円の減額となる一方で、各種手当の給付の増で629万3千円(0.8%)の微増となっています。公債費も臨時財政対策債などの元金償還の増額により2,305万8千円(4.8%)の増で、人件費、扶助費、公債費を合わせた義務的経費の合計で3,223万9千円(△1.3%)の減額となっています。

また、投資的経費では、乙訓土地開発公社への庁舎用地取得費の支払い残金6億800万円(平成22年度末時点)のうち、平成23年度末に3億800万円を支払いました。今回の当初予算では支払い残額3億円のうち2億円を計上しています。さらに、旧役場庁舎建物の解体・撤去経費と

して7千万円を計上し、旧庁舎処分問題の解決に向けて取り組んでいきます。

本誌4月号の特集記事「大山崎町行政改革プラン2011」でもお知らせしたとおり、平成25年度以降の当初予算を編成することが難しくなってきたおり、まさに町の行

財政運営は「崖っぷち」。平成23年度は、財政の健全化を柱に無駄を省く一方、町長のマニフェストである行政の広域化に向けた基盤固めとして、安全で効率的な水道事業構築のための懇談会を立ち上げました。また、町内循環バスの実現に向けて、町民ア

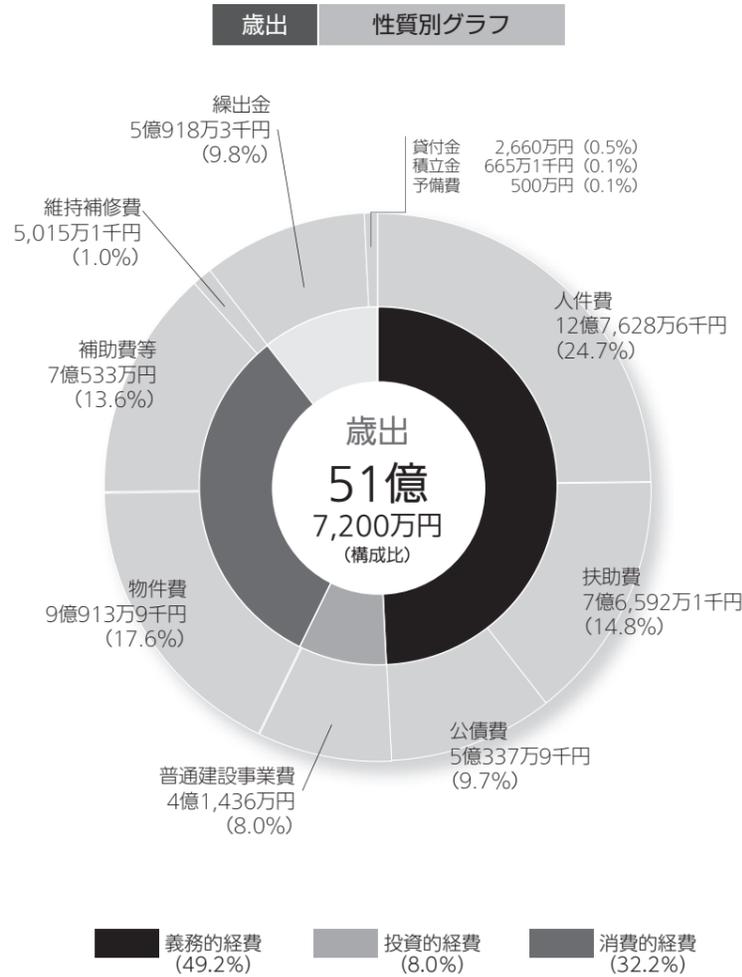
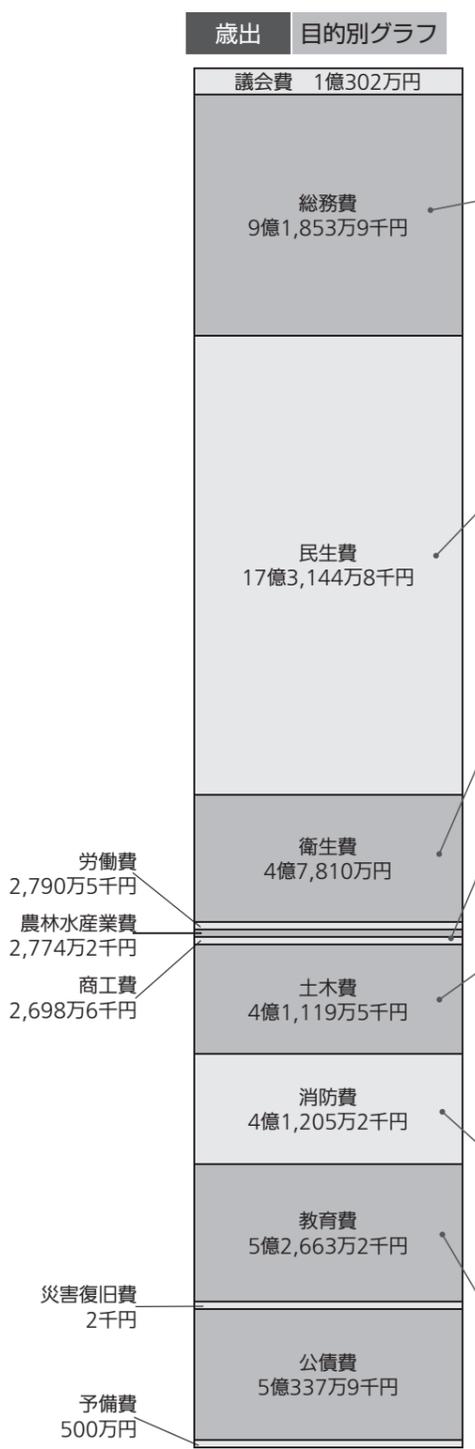
ンケート調査を実施。それに加えて、小学校の体育館耐震化や町体育館へのマンホールトイレ設置など、防災対策を強化。事務事業外部評価も実施しました。

平成24年度は、さらなる財政健全化を推進するため、可能な限り経常経費を縮減する

一方で、増大する子育て支援、高齢者支援など福祉施策の充実を図ります。また、防災対策の強化と道路維持補修などのハード整備や都市計画見直し検討への着手など、平成24年度当初予算は、来るべき将来の備えに積極的に取り組む予算となっています。

主な事業と予算額

総務費	旧庁舎解体撤去工事【新規】	7,000万円
	事務事業外部評価【新規】	19万円
	コミュニティバス運行実証実験【新規】	800万円
民生費	京都地方税機構負担金	1,142万円
	障害者相談支援事業委託料【新規】	400万円
	乙訓福祉施設事務組合負担金	2,542万円
	国民健康保険事業特別会計繰出金	7,266万円
	後期高齢者医療保険事業(特別会計繰出金を含む)	1億4,287万円
	介護保険事業特別会計繰出金	1億5,469万円
	子育て支援医療費助成【拡大】	2,983万円
衛生費	住宅用太陽光発電システム設置補助金【新規】	50万円
	乙訓環境衛生組合負担金	1億4,629万円
商工費	観光マップ作成【新規】	50万円
	天王山遊歩道整備工事	250万円
土木費	円明寺東・下植野団地側溝改修工事	3,260万円
	円明寺団地歩道整備詳細設計委託料	330万円
	都市計画マスタープラン見直し検討業務委託料【新規】	500万円
	下水道事業特別会計繰出金	1億2,000万円
	水道事業会計繰出金	1,870万円
	乙訓消防組合負担金	3億3,248万円
消防費	第1分団消防車更新【新規】	2,250万円
	放射線量測定機器購入【新規】	54万円
	防災対策事業	1,965万円
	避難所備蓄物資整備事業	487万円
教育費	大山崎小学校体育館外壁改修工事【新規】	530万円
	大山崎小学校トイレ改修工事【新規】	1,200万円
	第二大山崎小学校体育館外壁改修工事【新規】	530万円



町民1人あたりで 歳入・歳出を見ると

歳入予算額	
町民1人あたりの町税予算額	90,196円 (26.7%)
法人分町税予算額	69,319円 (20.5%)
その他	177,841円 (52.7%)

歳出予算額

議会費	6,720円
総務費	59,914円
民生費	112,938円
衛生費	31,185円
労働費	1,820円
農林水産業費	1,810円
商工費	1,760円
土木費	26,821円
消防費	26,877円
教育費	34,351円
災害復旧費	0円
公債費	32,834円
予備費	326円

※平成24年3月31日現在の住民基本台帳人口15,333人1人で計算しています

# 新しく職員が加わりました

平成24年4月1日から、大山崎町に新しい職員が加わりました。11人がそれぞれの部署で、精一杯頑張っていますので、どうぞよろしくをお願いします。



環境事業部建設課  
地域整備係  
平井 徹

民間で働いてきた経験を生かせればいいなと思っています。戸惑うこともあると思いますが、初心を忘れず頑張っていきます。

ヒライ・トオル  
道路、橋梁、河川などの維持管理担当



総務部総務課  
総務係  
大北 侑季

生まれ育った大山崎町で働けることが、とても嬉しいです。職員、また住民として、一生懸命、向上心を持って大山崎町のために努力していきます。

オオキタ・ユキ  
人事給与、研修担当



総務部税住民課  
課税係  
上田 知沙

私は大山崎町に住んではないのですが、この町はとても自然が豊かで美しい町だと感じています。さらに魅力ある町にするために頑張ります。

ウエダ・チサ  
固定資産税担当



健康福祉部健康課  
高齢介護係  
坂口 雄太

住民の皆さんの町に対する声に耳を傾け、「住んでよかった。」と思える町づくりのために何が必要かを考え、実現していきたいと思っています。

サカグチ・ユウタ  
高齢者福祉、介護保険担当



健康福祉部健康課  
健康増進係  
永井 沙苗

至らないところもあるかもしれませんが、笑顔で一生懸命頑張ります。よろしくをお願いします！

ナガイ・サナエ  
保健師



健康福祉部福祉課  
大山崎町保育所  
藤谷 美咲

大山崎町で生まれ育ったので、大山崎の子育てに係われることが嬉しいです。子どもたちのためにいい保育ができるよう、日々、成長していきたいです。

フジタニ・ミサキ  
保育所勤務



健康福祉部福祉課  
第3保育所  
野中 直美

早く仕事に慣れて、子どもたちからも、保護者の方からも安心してもらえる保育士になりたいです。よろしくお願いします。

ノナカ・ナオミ  
保育所勤務



健康福祉部福祉課  
社会福祉係  
黒崎 勉

不安はいっぱいありますが、仕事をきちんと覚えて、皆さんに1日でも早く職員として認めてもらえるように頑張ります。

クロサキ・ツトム  
社会福祉担当



健康福祉部福祉課  
第2保育所  
齋藤 朝香

目の前の子どもたちと真剣に向き合い、日々学んでいきたいです。笑顔で明るく、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

サイトウ・アスカ  
保育所勤務



健康福祉部福祉課  
第3保育所  
松島 未季

子どもたちと毎日、明るく楽しく元気に過ごしていきたいです。そして、子どもたちと一緒に自分も成長していけるよう頑張ります。

マツシマ・ミキ  
保育所勤務



健康福祉部福祉課  
児童福祉係  
柳瀬 陽平

子育てに関する悩みを持つ皆さんの助けになりたいと思っています。私自身、今年子どもが生まれたので、同じ視点で悩みを話していただきたいです。

ヤナセ・ヨウヘイ  
児童福祉担当

# 平成24年4月から 役場の組織が変わりました

## ―再編で課の名称が変更―

問Ⅱ企画財政課企画調整係  
☎956-2101(内380)

今回の組織改正では、行財政の改革プランを推進する企画調整担当係と財政担当係を同じ企画財政課に配置。それにより、平成24年2月に策定した「大山崎町行財政改革プラン2011」を着実に進めていく体制となりました。また、町民健康課の高齢者福祉・保険医療係を2つの係に分割。窓口年金係の業務の一部を総務部の所管とし、より機能的な組織となることを目指しました。

### 主な変更内容

▼課の再編

「総務課」「税財政課」「町民健康課」を「企

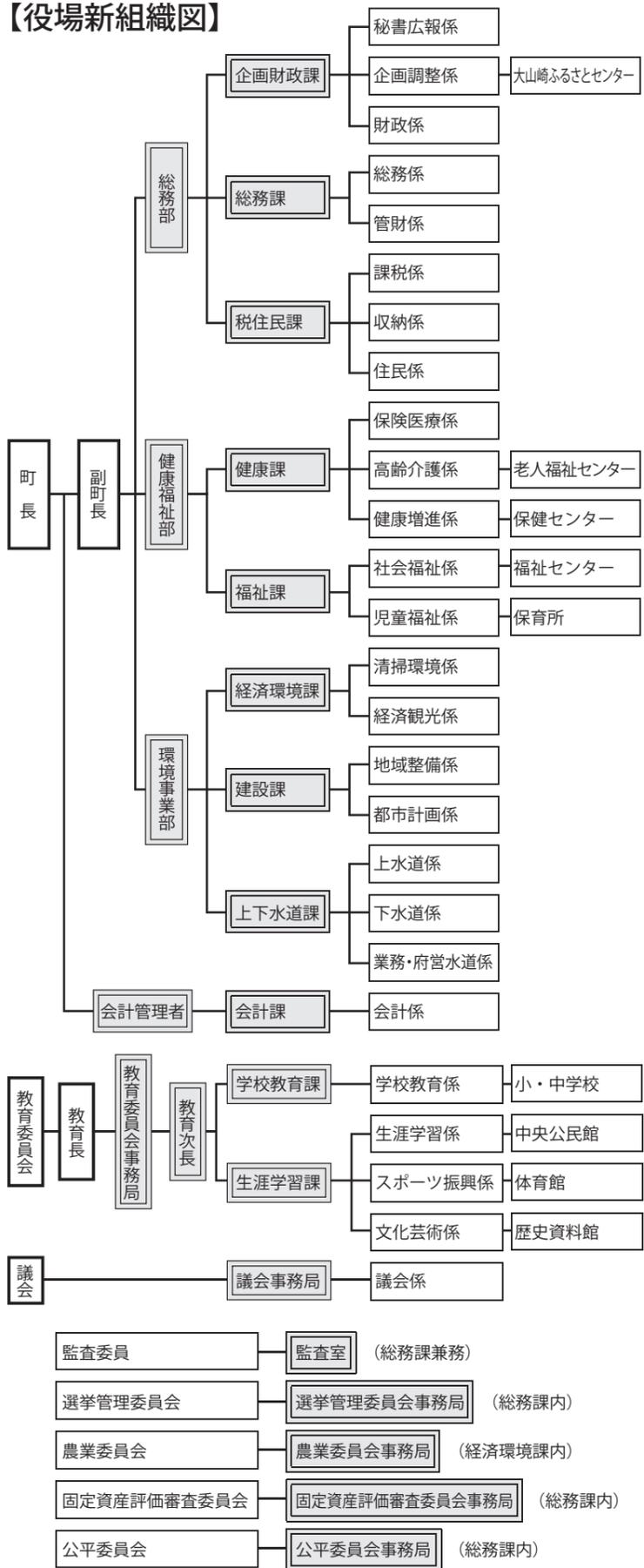
画財政課」「総務課」「税住民課」「健康課」に再編しました。

「税財政課」の財政管財係を分割し、財政係を「企画財政課」に、管財係を「総務課」にそれぞれ配置。

「町民健康課」の窓口年金係を分割し、戸籍や住民基本台帳の事務を扱う住民係を「税住民課」に、年金関係の事務を扱う保険医療係を「健康課」にそれぞれ配置しました。

また、「町民健康課」の高齢者福祉・保険医療係を分割し、保険医療係と高齢介護係として「健康課」に配置しました。

### 【役場新組織図】



# 天王山をまもる会 発足40周年記念 ソメイヨシノを山崎聖天に植樹しました

3月15日(日) 天王山をまもる会の発足から40周年を記念してメンバーが集まり、山崎聖天前の桜の広場にソメイヨシノ20本を植えました。今回はメンバーだけでなく、江下町長も参加。皆で手分けして広場の東側と、道を隔てた西側に桜を広げました。

## 振り返る40年前

40年あまり前、日本は高度成長期を迎え、京阪間に位置する大山崎町(当時は大山崎村)にも開発の波が押し寄せました。この頃に平地部の住宅開発が行われ▼鏡田団地▼円明寺が丘団地▼下植野団地が誕生。3千人余りだった人口がわずか数年で1万2千人に急増しました。

## 開発の手が天王山に

また、天王山でも変化がありました。それまで、開発の手が伸びないと思っていた山頂を含む地域に、宗教施設を建設するという計画が持ち上がったのです。町は急ぎよ対応を迫られることに。緑豊かな天王山を守るため、町は府や国に働きかけました。文部省文化庁にも対応を求め、文化財保護法で天王山を守る手だてを模索。働きかけのかがいがあり、国は文化財保護審議会を開き、天王山を史跡指定して開発から守るための審議を進めました。

## 故郷・天王山を守る

そのさなか、開発計画はとん挫したそうです。そ

の後、天王山を故郷のシンボルとして末長く守っていかうという町の呼びかけに応えた町民が「天王山をまもる会」を結成。▼春と秋の清掃登山▼会誌の発行▼桜や松の植樹▼放置竹林の整備と多方面に渡る活動を続けてきました。

## あの頃の山を目指して

そして40年目の記念植樹。この桜が成長し、桜花爛漫に咲くとき、桜の名所として知られた山崎聖天

も在りし日の姿を取り戻し、桜の名所として復活するかもしれません。皆さんも天気の良い日に山すそを散策ついでに、天王山をまもる会が植えた桜を探してみてください。そして、今は小さな桜の成長を、末長く見守ってください。

### 天王山をまもる会 総会開催のお知らせ

平成23年度事業報告・決算報告、平成24年度事業計画・予算案・役員改選を行います。  
 ときⅡ5月15日(日)午後2時30分～3時30分  
 ところⅡ役場3階防災会議室  
 問Ⅱ経済環境課 ☎956-2101(内244)



▲40周年の記念植樹をする江下町長

恒例行事のお知らせ

# こどもの日に鯉のぼりが泳ぎます

問 Ⅱ 福祉課児童福祉係  
☎ 956-2101(内159)



◀ 昨年の鯉のぼりのようす

毎年5月5日の「こどもの日」から、5月11日までの1週間は児童福祉週間です。社会の宝であるすべての子どもたちが、家庭や地域で豊かな愛情に包まれながら、明るく心豊かに育っていくことは、大山崎町だけでなく日本全体の明るい未来への発展にも繋がります。

町では子どもたちの健やかな育ちを願い、庁舎正面入口右側の国旗町旗掲揚ポールに、鯉のぼりを掲揚します。風に泳ぐ鯉のぼりに、元気いっぱいいな子どもたちを重ね合わせ、家庭、地域で育まれる子どもたちの未来に思いを馳せてみませんか。

ニニニは  
「ながみくしん」の  
あじだよ

(平成24年度 児童福祉週間標語)

エゴマまるごと体験事業

# エゴマプロジェクトの新規加入メンバーを募集

今から600年ほど前、中世の大山崎に大きな繁栄をもたらした荏胡麻油。その歴史に着目し、荏胡麻油を現代に復活させようと、「エゴマまるごと体験事業」では、参加者の皆さんと町職員が協働して荏胡麻の栽培、搾油を行ってきました。

平成23年度は▼クッキング▼アロマ▼エコライフ▼文化歴史の4つのクラブを立ち上げ、より幅広い荏胡麻の魅力を追求しました。

対象Ⅱ小学生以上  
※小学生は保護者同伴  
定員Ⅱ40人(申込多数の場合は抽選)  
参加費Ⅱ年1,000円  
※開講式で徴収します  
※ほかに、ワークショップごとに参加費などの実費を徴収  
※作業に必要な用具やお茶、昼食などは各自持参してください

申込方法Ⅱ5月1日(火)18日(土)の平日午前8時30分〜午後5時15分(昼休みを除く)に、電話またはFAXで▼住所▼氏名▼年齢▼電話番号▼FAX番号を左記まで。

問・申込先Ⅱ生涯学習課  
☎ 956-2101(内221・222)  
FAX 956-0131

中央公民館では、町民の皆さんが参加できる講座、教室を開催しています。

今年度の講座、教室の開催予定は下記のとおり。ぜひご参加ください。

## 寄せ植え教室

今回は夏も丈夫で安心な「多肉の壁掛け」。終了後、寄せ植えについてのお話を聞きます。

ときⅡ5月26日(土)午前10時30分〜正午

講師Ⅱ柴田政代さん(フラワーカーデンHanaako)

対象Ⅱ町内に在住または在勤の方  
定員Ⅱ20人(申込多数の場合は抽選)

参加費Ⅱ2,100円

※材料代などとして当日徴収  
申込Ⅱ直接または電話で左記まで。

受付Ⅱ5月1日(火)〜6日(日)

問・申込先Ⅱ中央公民館  
☎ 957-1421

## 皆さんの「学び合いの場」としてお使いください

# 平成24年度 中央公民館の講座・教室の紹介

※講座、教室および内容は変更する場合があります  
※開催時期にあわせて募集のお知らせをします

分野(開催回数)	講座・教室名	内容
子育て支援教室	子育て料理教室 子育て交流教室 遊びの広場	乳幼児のママのための役立つレシピ 子育てママのための交流教室 乳幼児とママたちがともに遊びでリラックス
男女共同参画講座	みとめ愛プラン講座 チャレンジ読書講座	男女がともに生きる社会を学ぶ 青少年向けの文学に親しむ読書講座
青少年チャレンジ講座	チャレンジ科学講座 寄せ植え教室	身近なテーマで科学の面白さを学ぶ 季節の花を使った楽しい寄せ植えを学ぶ
成人教養教室(市民カレッジ)	デジタルカメラ教室 国際理解教室	パソコンを使ってデジタル写真を加工する 旅行では体験できない外国文化に触れる
成人料理教室	スイーツ作り教室 そば打ち体験教室 パスタ作り体験教室 パン作り体験教室	初めてのそば打ち体験に挑戦! 大好きなスイーツ作りのレシピに挑戦! 家庭で手軽に楽しめるパスタ作りを学ぶ 家庭で手軽に楽しめるパン作りを学ぶ
図書講座(シリーズ)	古典文学読書講座 陶芸教室	絵本や紙芝居の読み聞かせを学ぶ 日本の古典文学などを読む 陶芸体験
夏休み子ども教室	科学遊び教室 天王山探検 淀川河川敷探検	科学実験などの面白さを学ぶ 天王山での自然観察など 淀川河川敷での自然観察など

# 制度改正で、保険料額が10段階から11段階に変更 平成24年度〜平成26年度の介護保険料について

介護保険料は3年ごとに見直されます。平成24年度から今後3年間の介護サービス費などの見込みをふまえ、新たな保険料額に改定。被保険者の方の負担に配慮し、所得区分をより細かくしました。

問 Ⅱ 健康課高齢介護係 ☎ 956-2101(内137・138・149)

段階	対象者	料率	年間保険料額(基準月額×12カ月×料率)
1	生活保護受給者の方 ・老齢福祉年金受給者で、本人および世帯全員が住民税非課税の方	0.45	27,000円
2	本人および世帯全員が住民税非課税で、本人の課税年金収入と合計所得金額の合計が80万円以下の方	0.5	30,000円
3	本人および世帯全員が住民税非課税で、1年間の本人の課税年金等収入額と合計所得金額の合計が120万円以下の方	0.6	36,000円
4	本人および世帯全員が住民税非課税で、第3段階対象者以外の方	0.75	45,000円
5	本人が住民税非課税、同じ世帯の中に住民税課税者がある方で、1年間の本人の課税年金等収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	0.9	54,000円
6	本人が住民税非課税で、同じ世帯の中に住民税課税者がある方	1	60,000円
7	本人が住民税課税で、本人の合計所得額が125万円以下の方	1.25	75,000円
8	本人が住民税課税で、本人の合計所得額が125万円以上、200万円未満の方	1.35	81,000円
9	本人が住民税課税で、本人の合計所得額が200万円以上、350万円未満の方	1.6	96,000円
10	本人が住民税課税で、本人の合計所得額が350万円以上、500万円未満の方	1.7	102,000円
11	本人が住民税課税で、本人の合計所得額が500万円以上の方	2	120,000円

※100円未満は50円以上は切り上げ、50円未満は切り捨てとなります

まちの話題  
Town Topics

まちの話題

3/11 町議会議員の皆さんと清掃ボランティアをしよう会  
きれいな町でお出迎え

大山崎町商工会建設部会が行った清掃活動。今回は16人が参加し、晴れ渡った空の下、ゴミ袋を片手に駅周辺からアサヒビール大山崎山荘美術館までの道のりを歩きました。

観光シーズンを前に行われるこの活動には、平成20年度から町議会議員有志の皆さんも参加。今回のゴミ拾いでは不法投棄などの大型ゴミは見つかりませんでした。地面に張りついたガムに頭を悩まされることも。小さなゴミだからと油断せず、ゴミはきちんとゴミ箱に。自分自身の手で町の美しさを守りましょう。



協定を結んだ(左から) 江下町長、龍谷大学・赤松学長、京都モデルフォレスト協会・今尾理事

3/23 森林の保全および利用に関する協力協定調印式  
天王山の森林整備活動が活発化

天王山の森林整備は、これまでボランティア団体や企業が参加して進められてきました。そこに、新たに龍谷大学が参加。環境問題や社会貢献活動を実践的に学ぶ講義の一環として、学生たちが研究を行い、天王山の整備をすることになりました。

森林の保全、利用に関する協定を結ぶ調印式には龍谷大学のほか、京都林務事務所長と京都モデルフォレスト協会などに同席いただきました。孟宗竹が侵食した山に、新たな若い風が吹きこみます。



3/24 大山崎中学校吹奏楽部 第9回定期演奏会  
卒業生、最後の晴れ舞台

「心に響け！ MUSIC」と題して、町体育館で行われた、大山崎中学校吹奏楽部による定期演奏会。いつも大勢の方が訪れ、会場がいっぱいになる人気の恒例行事です。あまりの人気に今回は24日と25日の2日間に分けて開催。卒業をむかえた3年生も参加し、出演する中学生たちは2日間、全力で演奏しました。卒業生の最後を飾る力強い音に、観客の皆さんは聞き惚れるばかり。

3部構成の演奏会の中では、「朝鮮民謡の主題による変奏曲」や「ノートルダムの鐘」などの曲のほか、ペットボトルやドラム缶、体を使って音を出すストンプも披露。元気いっぱい、心弾む演奏会になりました。

シリーズ  
救急救命最前線  
救急現場からのメッセージや、救急症例などを紹介します。

熱中症を予防して元気な夏を！

熱中症の発生は7～8月がピーク。熱中症を正しく理解して予防しましょう。

①暑さの感じ方は、人によって違う  
暑さに対する抵抗力は個人によって違います。自分の体調の変化に気をつけ、万全の準備をしてください。

②高齢者の方は特に注意が必要！  
熱中症患者のおよそ半数が高齢者(65歳以上)。高齢者の方は暑さや水分不足を感じる機能や体の調整機能が低下するので、のどの渇きを感じていなくても、こまめに水分補給をしてください。また、暑さを感じなくても、扇風機やエアコンを使い温度調節をするよう心がけましょう。

③協力して予防を呼びかけ合うことが大切！  
一人ひとりが周囲の人に気を配り、熱中症の予防を呼びかけ合い、熱中症の発生を防ぎましょう。熱中症にかかりやすい高齢者、子どもなどは、周囲が協力して注意深く見守るようしてください。

④節電を意識しすぎて、予防を忘れない！  
節電を意識しすぎて、健康を害することがないように、気温が高い日は無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使いましょう。

- ～熱中症になった時の処置～
- ①涼しい場所へ避難させる
  - ②衣服を脱がせ、身体を冷やす
  - ③水分・塩分を補給する
- ※自分で水を飲めない場合、意識がない場合は、すぐに救急車を呼んでください



集中豪雨に備えよう  
5月は「水防月間」です  
もうすぐ梅雨入りの季節を迎えます。市街化が進み、舗装された道路の多い都市部では、短時間に多くの雨が降ると、雨水が土にしみ込むことができません。舗装された地表を雨が行き、直接河川や下水道に流入。最近では、あふれた水が道路の冠水や地下街などの浸水被害を引き起こす、都市型水害が発生しています。豪雨による河川の増水や道路冠水は、予想を超える速さで襲ってきますが、事前の予測が可能。普段から一人ひとりが十分な対策を考えておくことが大切です。

- 集中豪雨から身を守るポイント  
日頃からの心がけ
- ▼事前に付近の危険箇所などを把握しておく
  - ▼自宅周辺の排水溝など点検し、清掃しておく
  - ▼避難場所と持ち出し品を確認しておく
  - ▼天気の変化に備える
  - ▼テレビ、ラジオなどでタイムリーに気象情報を収集してください
  - ▼河川敷で「水かさが増えてきた」「川がにごってきた」「流木や落ち葉が流れてきた」という状況であれば、上流付近で大雨が降っている場合があります。雷が鳴ったり、雨が降り始めたら急いで安全な場所

所に移動してください  
豪雨のこんなときには  
▼「これくらいなら大丈夫」と思っているうちに、避難できなくなり近所の人が避難をしないから「私も大丈夫」と油断をせず、率先して避難してください

▼水深や水の流れの速さを考慮して、避難が危険だと判断した場合、無理をせずに家の2階や屋根などの高い所で救助を待つてください

▼車での避難は危険です。水圧でドアが開かなくなったり、パワーウインドーが動かなくなり脱出不能になることがあります。なるべく歩いて避難してください

「消火器を見せてください」と消火器の不適正な点検を行ったり、点検費用として高額な金額を請求する被害が報告されています。悪質な消火器の訪問点検にあわないために、次のことに注意し、被害を未然に防ぎましょう。

トラブル防止のポイント

- ①身分証明書などの提示を求める。
- ②はつきりと点検を断る。
- ③契約書にハンコを押さない。

※消防署では消火器の販売・回収は行っていません